

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2003年7月22日

2003年7月20日現在:

全州に亘り高温が続き、降雨は極めて限られた地区にて記録されたのみで、7月20日に終わる週は、高温・乾燥気象であった。この1週間の州平均農作業稼働日数は6.9日(前週:7.0日)であった。平均気温は平年を2~6度上回り、北中央地区(NC)並びに北東地区(NE)では最高気温は100度を越し、ウイラメット盆地では91~93度Fであった。土壌水分は前週より減少した。

高温・乾燥気象より小麦の完熟が早まり、7月20日現在冬小麦の35%が収穫された(昨年同期:29%、平年:13%)。昨年及び平年より早い進捗となった。Sherman群では乾燥地区から収穫が始まり、全郡の収穫最盛期は7月末と見込まれる。現在までの処単位収量は平年並みであるが、粒張が悪く蛋白質は高目と報告された。Union郡の春小麦は急速に枯熟し出した。北東地区のMalheur郡でも収穫が開始された。高温・乾燥で収穫が早まっている。ウイラメット盆地での収穫も開始された。

7月1日付けUSDA冬小麦生産量予想のオレゴン州の単収予想は、6月1日よその53.0 bushels/acreと同じであった。収穫面積が950,000 acres(6月1日予想:940,000 acres)と成った。

土壌水分状況:

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	25	52	23	0
Subsoil (%)	22	51	27	0

小麦進捗状況:

	This week	Last week	Last year	5-yr Average
Winter wheat Harvested (%)	35	7	29	13

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

7月1日付け農務省発表の冬小麦生産量予想:

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	July 1		
Oregon	710	950	41.0	53.0	53.0	29,110	50,350

当該作柄レポートに関するご質問・ご意見は下記宛てにお願い申し上げます。

小川正晃: E-Mail ogawa.max@omicnet.com

以上